

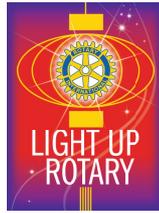
2014-15年度 国際ロータリーテーマ

「ロータリーに輝きを」

RI会長 ゲイリー C.K. ホアン

8月は会員増強及び拡大月間です。

国際ロータリー 第2580地区
2014-15年度 ガバナー 鈴木 孝雄



「ひとりひとりの『ロータリー・モメント』を!!!」

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ
第43代クラブ会長 比留間 孝司

本日の例会
全員クラブ協議会

第2049回
例会
2014. 8. 27

次回例会案内【9月3日(水)】
多摩分区ガバナー補佐訪問

第2048回例会報告

(2014年8月20日)

司会 内野 均 SAA (会場運営委員長)

点 鐘

(比留間 孝司 会長)

出席報告

(後藤 正次 会場運営副委員長)

斉 唱

奉仕の理想
ソングリーダー (網代 稔 会員)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
32名	24名	86.21%	なし

会務報告

(比留間 孝司 会長)

- 「ロータリー希望の風奨学金」に関する記事が、ロータリーの友8月号に掲載されたので、ご一読を。ご支援いただける場合は、お申し出下さい。
- 日台ロータリー親善会議・板橋敏雄総裁から、「台北国立故宮博物院展」の案内が届きました。
 - ・東京国立博物館・平成館 2014年6月24日～9月15日
 - ・九州国立博物館 2014年10月7日～11月30日
- 「ハイライトよねやま173」を頂きました。



- 事前メイクアップ
見延 壽昭 会員 (東大和RC)
- 出席免除会員
栗原 高明 会員
榎本 昭 会員
田代 純則 会員

委員会報告

○会員増強について

(田中 伸彦 会員組織委員長)

候補者推薦カードを配布しますので、1会員1人以上の会員候補者の推薦をお願いします。



幹事報告

(網代 稔 幹事)

- 東京青梅RCより「ロータリークラブ要覧」を頂きました。
- 東京秋川IRCより「アユの塩焼きを食べる会」の案内が届きました。
 - ・日時：9月4日(木)午後5時から
 - ・場所：森林村
 - ・会費：6,000円
- ※参加希望の方は、事務局まで
- 東京福生RCより「合併に伴う夜間例会(7月31日開催)」のお礼状を頂きました。(当日の内容を掲載したクラブ週報が添付されています。)



* 今までの歩みを振り返って

比留間 市郎 会員



○ 私は、今年で73歳になります。ロータリーでは私より先輩は3・4人で、あとは同級生が3人で、かなり年齢を感じています。比留間家は、私が8代目で、親戚筋は15・6代の家が多い。比留間家の先祖は頭のいい系統のようで、東大や九大、府立二中卒等が結構いました。

残念ながら、私の代では、中庸のレベルといったところだと思っています。

- 私は、小学校・中学校を通して、常に身体が1番大きく、ずっと野球をやっていました。当時の運動環境は厳しく、部落（地区）対抗野球では、下は半ズボンに裸足、上は裸でプレーをした記憶があります。
- 父親が太平洋戦争で戦死をし、終戦の時に残されたのは38歳の母、72歳の祖父、そして11歳を頭に6人の兄弟だった。兄弟のうち4人は姉で、5番目が私、弟が6番目だった。家計は厳しく、苦しい状況の中で、姉たちが通学に使う自転車を買ったことを覚えている。
- 中学校に入り、全校のソフトボール投げで1位になり、皆が「市郎はすごいや」と褒めてくれた。中学校で野球を一生懸命やったので、卒業時には、日大二・三高、法政一・二高、早実等から入学の勧誘があり、三高に入った。高校に進むときには、私の進学のことでもいろいろ言われたが、「市郎の人生だから、市郎のやりたいことを」と応援してもらい、野球ができた。日大三高は強かったが、現在ほどではなかった。三年先輩に阪神に入団した人がいて、その学年までは強かったが、早実に入ってから、負けるようになってしまった。当時王選手と戦ったが、なるほど凄いなと思った。練習のきつさには、ほとほと嫌になってしまった。いつも、何かあったら休めないかなと考えていた。高校野球の思い出は甲子園出場だが、東京都の予選では、私がバスターでセンター前にヒットを打ち、決勝点を挙げたのが勝因となり、甲子園に行けたと思っている。
- 高校卒業と同時に、リッカーマシンに入社し、ノンプロ野球を4年やってから退職。八王子の親戚の所で6年ほど不動産業等の修業をし、その後独立して倉庫や工場を造り、不動産賃貸業を始めて生活も安定するようになってきた。
- ふとしたことから、急遽、市議会議員選挙に立候補することになり、それから7期、28年間も議員生活を送ることになってしまった。その間は、市民の皆さんや議員仲間にもお世話になり、お陰様で議長を9年も務めさせていただきました。しかし、その間にもらった報酬は一銭も残らなかったような気がしている。

* 生まれ育ってきた道

内野 均 会員



○ 私の父は、村山の萩の尾地区が生家で、7人兄弟の次男です。家は貧しく、食べるのが一番の楽しみだったようです。父は、16歳から立川の「山口ガラス」で修業をし、旧青梅街道、一小交差点近くにガラス店を出したのが、ガラス業の始まりです。私はそこで生まれました。

裏がすぐ空堀川になっていて、梯子ですぐ下に降りられるような、結構面白い所に住んでいた。当時ガラスは、トラック等ではなく、自転車で背中に板を背負い、それに挟んで運んでいた。建具屋さんがいれた建具に、ガラスを入れるのが主な仕事だった。

その後、住宅事情が変化してアルミサッシが主流となり、大きなガラスをトラックで運んで入れるようになってきた。父は、ガラス問屋に厳しい対応をされていたようで、今では、反対にその業者に厳しく当たっているような気がする。私が幼稚園児のころ、三本榎の現在地に土地を買い、店を移しました。

- 当時、私は裏の狭山丘陵に行って遊ぶのが大好きで、横田田んぼ、番太池、赤坂池等でエビ釣りをよくやっていた。近くに駄菓子屋があり、エビを釣るのにイカを買っていったが、それも買えなかったので、現地でエビをもらい、それを餌にして釣をした記憶がある。
- 村山一中から国学院久我山高校に進学。かなり厳しい男子校で、風紀担当の先生にたびたび叱られた。渋谷が近かったので、下校の途中で着替え、ディスコにもよく遊びに行き、煙草も適当に吸っていた気がする。大学には行かず、建築科の専門学校に進んだ。19歳ぐらいで退学し、父親のガラス店を手伝うようになった。仕事はアルミサッシの取り付けで、加園建設の監督の増井さんにいろいろと細かいことをよく教えてもらった。お陰で、今ではアルミサッシ業界にどっぷりと浸かっている、といったところでは、
- 仕事での一番の思い出は、武蔵村山市役所北側玄関のガラスが、ガス爆発事故で全壊したときに、仕事を請け負い、職人さんと一緒に段取りをして厚さ19ミリの巨大なガラスを、無事に入れ替えたことです。これで、すっかり仕事に自信がつき、一回り大きくなったような気がします。



ニコニコBOX

今回ニコニコはありませんでした。

◆ 今回計 0円 累計 320,000円

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
 ◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
 ◎ 会長 比留間 孝司 ◎ 幹事 網代 稔
 ○ 副会長 宮崎 茂夫 ○ 副幹事 倉内 淳
 □ クラブ会報委員長 松村 慎一 副委員長 網代 雅男
 委員 原田友義、薄井政光、波多野晃夫、比留間一義

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階
 〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
 ◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
 ◇ クラブ事務局
 〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
 TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
 Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp